

Case 3) 80歳代 女性

標的病変:左SFA石灰化病変

診断名: 閉塞性動脈硬化症、大動脈弁狭窄症(TAVI後2020年)

冠危険因子:高血圧・糖尿病・脂質異常症

現病歴:

2020年にTAVI施行し、かかりつけ医での加療継続。本年6月間欠性跛行をs自覚(右<左)しCTAを施行。左右SFAの高度狭窄と左CFAの閉塞と診断。2023年8月左CFAへのEVT施行。今回右SFA高度石灰化病変へのEVT目的にて入院。

ABI rt. 0.75, lt. 0.52 (左CFA治療前)

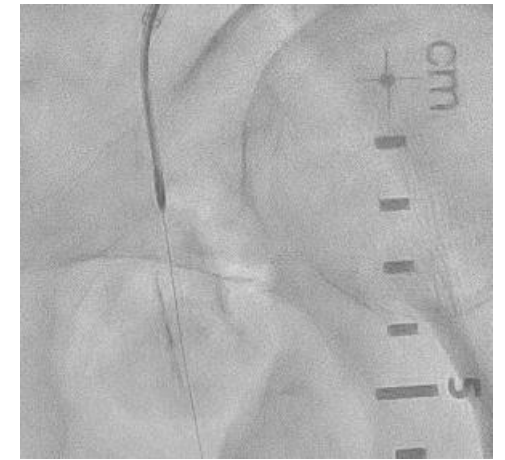
Cre 0.86 mg/dl、 eGFR=46.8 mL/min/m²

左SFA CTOの治療

治療前



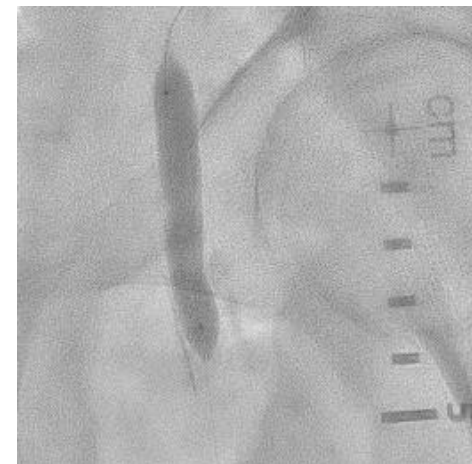
Jetstream 1.6mm



治療後



NSE 7.0*40mm



Case 3) 標的病変:
右SFA 石灰化病変

